こういった母語話者による判断の違いに は触れない者もおり，Quirk 他にとつては， （4）はまったく問題ないようである（cf．Postal 1976：223－224，n．6）。
（4）There are ten boys and girls in the playgroup．（Quirk et al．1985：966）

広く用例にあたってみると，この種の表現 は three boys and girls も含め多く見つかる。数詞のあとに X and Y が続く表現を「Num＋ $\mathrm{X}+\mathrm{and}+\mathrm{Y} 」$ 」表すとすると，この表現はお およそ次の二つの用法に分けられる。
（5）a．Num が X と Y の合計を表す用法（こ の用法は以下でさらに二分される）
b．Num が X と Y の内訳を表す用法（cf． Green and Piel 2002：144；Postal 1976： 223－224，n．6）

ここで論じるのは，次の二つの問題である。
（6）a．合計表現の X の数と Y の数の組み合 わせのパターンにはどのようなもの があるか。
b．どのような X と Y が合計表現に現れ るか。

## 2．（6a）の問いをめぐる問題

ここでは次のような表記を用いる。下位語 のレベルを level 1 と呼び，上位語のレベル を level2 と呼ぼう。

boys や girls は level 1 にある下位語であり，
children は level 2 にある上位語である。
そうすると，three boys や three girls，three children などは次のように表すことができる。
（7）a．three［level 1 boys］
［M－F：3－0］
b．three［level 1 girls］
［M－F：0－3］
c．three［level 2 children］
［M－F：3－0，2－1，1－2，0－3］
d．three $[$ level 1 ［level 1 boys］and［level 1 girls］］
［M－F：2－1，1－2］
e．three［level 1 boys］and（three）［level 1 girls］
［M－F：3－3］

右端の角括弧内の M－F は当該表現が指しら る男女の組み合わせを表す。例えば，3－0 は男性 3 人，女性 0 人の組み合わせを表す。 three children であれば，男の子のみ 3 人，男 の子 2 人に女の子 1 人，男の子 1 人に女の子 2 人，女の子のみ 3 人の組み合わせの可能性 がある。（7d）では，男女を足し合わせて 3 人 の組み合わせの可能性が示されている。（7e） は数詞が男女の内訳を表す用法である。男女 がそれぞれ 3 人で合計 6 人である。

合計を表す表現については，＊two boys and girls，＊one boys and girls 及び＊two boy and girl は容認されないという事実がこれまで指摘さ れている。男女を足し合わせて 1 人あるいは 2 人という解釈はできないということである。
（8）a．＊\｛two／one\} [level 1 ［level 1 boys］and［level 1 girls］］（cf．McCawley 1973：359；Stampe 1976：598）
b．＊two［level 1 level 1 boy］and［level 1 girl］］（cf． Heycock and Zamparelli 2005：228）

これを一般化すれば次のようになる。
（9）（5a）の用法においては，数詞が表す数は等位項の数と同じであってはならない （後に精緻化する一般化）。一方，（5b）

の用法にはこの制限はない。
（9）の制限は次のようなデータを説明する のに必要である。
（10）a．two boys and zero girls + two boys and girls
b．two boys and two girls $\sim$ four boys and girls （cf．（5a））～two boys and girls（cf．（5b））
（10a）は two boys and zero girls が two boys and girls と対応関係にないことを表している。一方，（10b）に示すように，two boys and two girls は four boys and girls と対応関係にある。2に 0 を足せば 2 ， 2 に 2 を足せば 4 でありなが ら，合計の解釈ができるか否かという点にお いて two boys and girls と four boys and girls は異なるのである。この違いを捉えるために， （9）のような制限は必要である。（11）は合計を表す用法に関する（9）の制限を表したもので ある。（12）は数詞の two が boys と girls の内訳を表すことが文脈上はっきりしている例 であり，合計を表す用法とは分けて考えなけ ればならない。
（11）＊two X and Y ，＊three $\mathrm{X}, \mathrm{Y}$ ，and Z
（12）There were ．．．Michael and Anne with their two boys and girls．（M．Ridgeway， How Brave the Irish Heart）

ここで，（7d）にはない男女の組み合わせのパ ターンを示す例に注目しよう。（13）では，three brothers and sisters が three sistersを指している。
（13）Eleven－year－old Ken is one of four children．．．．Ken and his three brothers and sisters ran very high fevers for days after their DPT shots．．．．Two of Ken＇s sisters，who also had high fevers for several days after their DPT shots，are also in learning disability classes．．．．His youngest
sister was given only one DPT shot，and she has no learning disabilities at all．（H．L． Coulter and B．L．Fisher，A Shot in the Dark）

この例かららかがわれるのは，brothers and sistersを siblings の代替表現として使う母語話者がいるということである（cf．廣瀬 2012）。
（14）a．three［level 2 siblings］
［M－F：3－0，2－1，1－2，0－3］
b．three［level 2 brothers and sisters］
［M－F：3－0，2－1，1－2，0－3］
（14a）は three siblings が指しうる男女の組み合 わせを表している。（14b）は siblings の代替表現 としての brothers and sisters が（14a）と同様の組 み合わせを表すことを示している。（14a，b）共 に性別が問題とならない解釈である。（13）の three brothers and sisters が示しているのは， （14b）が表す組み合わせの一つである。

以上の考察を一般化すれば，下位語の等位接続表現を上位語の代替表現として使う母語話者がいるということである。これが可能な のは，次の①から（5）までの5つの理由による。
（1）下位カテゴリーの語を用いて上位カテゴ リーの意味を表す提喩が一般に存在する。
（2）brother と sister は性別の点で対立する語である。
（3）brother と sister は sibling を二分するカ テゴリーである。
（4）sibling は formal ないし technical な語で ある（Yallop 2004：69）。
⑤ brother や sister は基本レベルの語であ る（Kock 2001：1151）。

そうすると，（5a）の用法は $(15 \mathrm{a}, \mathrm{b})$ のように二分できる。
（15）a．Num［level $1\left[\operatorname{level}_{1} \mathrm{X}\right]$ and $\left.\left[\operatorname{level~} 1^{\mathrm{Y}}\right]\right]$（（9） の制限に従う）［X や Y はゼロではあ

## りえない］

b．Num［level 2 X and Y$]$（（9）の制限に従わ ない）［X か Y のいずれか一方がゼロ でありうる］
（15b）によれば，siblings の代替表現としての brothers and sisters，すなわち，level 2 の brothers and sisters は，等位項の数は二つだが，数詞の two と共起できる（cf．two の内訳解釈）。そして これは，two siblings が可能であるのと同様であ る。一方，level 1 の brothers and sisters は two と は共起できない。（16a，b）に示す通りである。
（16）a．two［level 2 siblings］［M－F：2－0，1－1，0－2］
b．two［level 2 brothers and sisters］（cf．＊two
［level 1 ［level 1 brothers］and［level 1 sisters］］）
$(17,18)$ は，数詞に two を含む合計解釈の \｛two／two or three／one or two\} brothers and sisters の例である。ここでは，性別は問題となって いない（これらは（15b）の用法の裏付けとなる）。
（17）a．Since no two people anywhere are exactly alike，no two brothers and sisters get along the same．（M．B． Rosenberg，Brothers and Sisters）
b．［T］he list of family members，while longer than the usual two brothers and sisters of the nuclear family today，is significantly shorter than it would have been two hundred years ago．（M．Griffin and A． Spanjer，＂The Nisga＇a Common Bowl in Tradition and Politics，＂Aboriginal Canada Revisited，ed．by K．Knopf）
（18）a．［C］onsider the kids with two loving parents－they ．．．jockey for position with two or three brothers and sisters to gain the focus of their folks．（S．T． Olivas，When Good Kids Go Bad）
b．It＇s not good for a child to be with adults
or one or two brothers and sisters all the time；he must be allowed to be a child， with other children．（N．Grant，Society， Schools and Progress in Eastern Europe）
level 2 の brothers and sisters が一種の慣用句として 1 語として働いていることは，音声面や表記のしかたにも反映されている（cf． Taylor 2012：131－133）。
（19）brothers $n$ sisters（cf．bed $n$ breakfast，bread n butter，cup n saucer（Turner 2000：117））

次に示す例は，brothers and sisters が fellow \｛believers in Christ／Christians\}を表す例である (cf. brethren，brothers）。ここでも，brothers and sisters は性に関して中立的で，数詞は合計を表している。
（20）a．I cannot understand God＇s word alone，so now I study the word of God with two or three brothers and sisters．（W．Nee， The Body of Christ）
b．Perhaps one or two brothers and sisters need to visit from village to village．（W． Nee，Further Talks on the Church Life）

さて，siblings という語に比べると，boys や girls の上位語の children は formal でも technical な語 でもなく，別の表現に言いかえる必要はない。 したがって，boys and girls が children の代替表現， level 2 の表現として働くことは通例ない。（21） の例において，数詞のtwo を含む\｛two or three／one or two \} boys and girls は, 性別の点で対立する,男女の内訳を表す解釈が与えられる（cf．（7e））。
（21）a．With the glare of the furnaces and of the torches around the carrier，it was a pretty picture and of course the young people danced－they always did in the South in those days when two or three boys and
girls got together．（J．M．Morgan， Recollections of a Rebel Reefer）
b．I used to send to the national school to ask them to let me have one or two boys and girls who could read well，and they were to come up to me and read in the evening． （N．Morris，＂An Historian＇s View of Examinations，＂Examinations and English Education，ed．by S．Wiseman）

ところが，通例 level 2 の用法をもたない boys and girls が，性別が問題とならない解釈，すなわ ち，性に関して中立的な上位語の代替表現とし ての解釈を与えられる場合がわずかながらある。
（22）a．Write down here the names of the three boys and girls from this class you would like to play with most during break．Be sure to put down your first three choices，first the person you would like best to play with，then your second choice and then your third．（E．M． Anderson，The Disabled Schoolchild）
b．［A］t most，one or two boys and girls out of every ten thousand would develop cancer eating French fries that they would otherwise not have developed if they hadn＇t eaten French fries．（M．Greger，＂Cancer Risk From French Fries，＂Care2． ＜http：／／www．care2．com／greenliving／cancer－ risk－from－french－fries．html＞）
c．At their New York office，she had more supervisory experience than she had had at Bailey Williams and was in charge of 2 or 3 boys and girls who helped with the filing and other office work．（S．Richardson， Fearless and Free）
（22a）は子供に指示を与える際に用いられて いる。子供から見た周囲の同年齢の者のこと

を言っているので，children でなく boys and girls が使われている。（22b）については，先行文脈で children という語が生じており，こ の語の繰り返しを避けるために boys and girls が使用されていると推察できる。（22c） については，性別の対立する level 1 の等位接続表現で内訳解釈の可能性もあるが，性別 の対立しない level 2 の等位接続表現で合計解釈が可能であるとすれば，その理由は判然 としない。いずれにしても，boys and girls の level 2 での用法はまれであると言ってよい。

## 3．（9b）の問いをめぐる問題

ここでは「Num＋X＋and＋Y」の X と Y の間の「意味的距離」（semantic distance），X と Y と上位語の間の意味的距離の問題につ いて考察する（cf．Allan 1986：191－194）。まず，容認可能な例を観察しよう。
（23）a．five \｛sons and daughters／aunts and uncles／men and women／ladies and gentlemen／cocks and hens\}
b．five \｛children and grandchildren／sons and grandsons／daughters and granddaughters $\}$
c．five \｛brothers and uncles／sisters and aunts／uncles and granduncles／aunts and grandaunts\}
（cf．McCawley 1973：359－360）
（23a）では，性別の対立する X と Y が等位接続されており，等位接続された X と Y は，性別の指定のない上位カテゴリーの成員を余す ところなく表す。この種の例は，特別な文脈 を必要とせず，最も普通に用いられ，この表現の典型例であることが確認できる。（23b）で は，（23a）とは違って性別の対立はないが，世代の対立する X と Y が等位接続されている。 これらは（23a）とは異なり，上位カテゴリーを二分するような等位接続表現ではない。（23c） においても性別の対立はないが，ここでは，世代のみならず系列も異なる表現が等位接続

されている。これらもまた，上位カテゴリー を二分するようなものではない。（23b）のうち，「数詞＋children and grandchildren」は訃報の文脈で，「数詞＋sons and grandsons」は聖書の文脈で専ら使われる。（23c）の用例はあまり見 つからないが，ないわけではなく，使われる とすれば訃報の文脈である。（23b，c）共に，限定的にしか使用されない。

次に，容認しにくい例を観察しよう。
（24）？？five \｛pumpkins and watermelons／potatoes and onions／owls and ravens／raspberries and blueberries $\}$
（25）＊There are five fountain pens and ballpoint pens on the desk．（Kobayakawa 1995： 181；cf．Wierzbicka 1988：510－514）
（24，25）では，世代や系列の違いに帰するこ とのできない，異なる種類のものを表す X と Y が等位接続されている。 X と Y と上位語の間の意味的距離は（23a）の場合よりも大 きく（X と Y は上位カテゴリーの周辺的事例である），合計解釈はしにくくなっている。
（26－29）では，（ 24,25 ）と同じように，異な る種類のものを表す X と Y（すなわち，異 なる種類のペット，果物，筆記用具）が等位接続されているが，今度は，それぞれ容認可能となっている。 X と Y と上位語の間の意味的距離が $(24,25)$ の場合に比べて大きくな いからであろう（X と Y は上位カテゴリー のプロトタイプである）。他方で，性別の点 でのみ対立する（23a）に比べると，X と Y の間の意味的距離は大きいと考えられる。それ と連動して，合計解釈の先行文脈への依存度 は高くなっている。
（26）a．They also discovered five dead cats and dogs frozen in her freezer，two dead dogs in her shop and dozens of sickly，starving animals roaming around her apartment．（P．Caulfield，
＂Pet Shop Owner Busted after Cops Find Five Dogs \＆Cats in Her Freezer，Dozens More Sick and Hungry，＂NY Daily News． ＜http：／／www．nydailynews．com／news／national／ pet－shop－owner－busted－cops－find－dogs－cats－ freezer－dozens－sick－hungry－article－1．115190＞） （木村惠氏による（2013 年 11 月 29 日））
b．Q．What kinds of regulations are there on dogs and cats？

A．All pets are required to be under their owner＇s control at all times．Pets should be on a leash or confined in a home or yard．A residence is allowed a maximum of five dogs and cats over the age of six months， provided that no more than three of the animals are dogs．（＂FAQ，＂Prairie City． ＜http：／／prairiecityiowa．us／？page＿id＝268＞）
（26a）については，先行文脈に＂In all，cops rescued 26 pets－dogs，cats，a rabbit，a bird and a hedgehog．．．．＂という文があり，dogs と cats の上位語である pets という語が現れている。 （26b）についても事情は同様である。
（ $27 \mathrm{a}, \mathrm{b}$ ）の文にはそれぞれジャグリングの写真とダチョウの首が飲み込んだもので膨 らんでいる様子を写した写真が添えられて おり，合計解釈の支えとなっている。また， （27a）にはジャグリングに用いるボールとい う先行文脈が与えられている。
（27）a．［H］e juggled six apples and oranges． （B．Fife，How to Be a Goofy Juggler）
b．［W］ith four apples and oranges already down，she has another orange to go．（Life 34．14）
（28a）はりんごと梨の数を求める算数の問題文 という文脈で合計表現が可能になっている。
（28b）は Apple－Pear Crisp というデザートのレシ ピにある表現である。内訳が問題とならず，り

んごと梨の合計数のみが問題となる文脈である。
（28）a．If 10 apples cost a penny，and 25 pears cost two－pence，and I buy 100 apples and pears for nine－pence halfpenny，how many of each shall I have？（P．Nicholson，A Popular Course of Pure and Mixed Mathematics for the Use of Schools and Students）
b．8－10 apples and pears（Granny Smith apples and Bosc pears are a good combination）（T．Horton，Bring It！）
（29a，b）ではペンと鉛筆の合計が表されている が，どちらも筆記用具であることと，（25）と比べ ると，ポケットという比較的狭い場所を表す表現を伴うことでこれが可能になっていると思わ れる。（ペンや鉛筆とポケットが密接な関係にあ ることは，a pocketful of pens（and pencils）という慣用的な表現の存在により確認できる。また，a cup（ful）of pens（and pencils）も参照）
（29）a．Reger put on his own orange vest－with the six pens and pencils lined up in their pocket compartment．．．．（N．Lord，Early Warming）
b．He carried a briefcase and in his shirt pocket were no less than thirty－six pens and pencils． （V．L．Mendoza，Son of Two Bloods）

ここで言う合計解釈は，（30）になると得に くくなる。
（30）a．five \｛cups and saucers／bows and arrows／knives and forks／husbands and wives／horses and carts\} （cf．Quirk et al．1985：966）
b．five \｛gin and tonics／ham and eggs／fish and chips／horse and carts $\}$
（30a）については，X と Y が概念的にまとまり をなすため，それぞれを足し合わせた数ではな く，セットの数としての解釈が優先されるから

である（cf．five sets of cups and saucers，five cup－and－saucer sets）。（30b）では X と Y が表すも のの一体化がさらに進んでおり，もはや二つで一つといった様相を呈している。複数接辞が二 つ目の名詞のみに付くのはその現れである。

## 4．むすび

以上の考察から分かるように，「数詞＋名詞＋ and＋名詞」において，数詞が合計解釈を与えら れるか否かは，等位接続されている名詞の上位語の有無，等位接続されている名詞が上位語を二分するものであるか否か，二つの名詞の間の意味的距離がどのくらいか，二つの名詞と上位語の間の意味的距離がどのくらいか，二つの名詞がどの程度まとまりをなすかといった要因を考慮しなければならない。また，二つの名詞の いずれか一方がゼロの解釈ができるか否かは，等位接続された名詞が上位語の代替表現として働き得るか否かによる。この表現は，「異なる種類のものは数えられない」（cf．Jespersen 1924： 188－189；Wierzbicka 1988：510－514；Kobayakawa 1995）といった単一の説明法によって捉えらる ものではないことが分かる。
＊本稿は，日本英語学会第33回大会（2015年11月 21日，22日，於 関西外国語大学）における研究発表に基づく。質疑応答の折，岩田彩志，大谷直輝，金澤俊吾の各先生に有益なコメントをいただいた。 また，中右実，廣瀬幸生の両先生には，草稿にお目通しいただき，ありがたいご助言と励ましのお言葉 をいただいた。ここに記して感謝申し上げる。

## 参考文献

Allan，Keith（1986）Linguistic Meaning 1， Routledge \＆Kegan Paul，London．
Green，Michael and John A．Piel（2002）Theories of Human Development：A Comparative Approach，Allyn and Bacon，Boston．
Heycock，Caroline and Robert Zamparelli（2005） ＂Friends and Colleagues：Plurality，Coordination，
and the Structure of DP，＂Natural Language Semantics 13，201－270．
廣瀬幸生（2012）「認知言語学と日英語対照研究— ことばから心と文化に迫る—」2012年度認知言語学セミナー配布資料（2012 年 9 月 7 日，大東文化大学），日本認知言語学会。
Jespersen，Otto（1924）The Philosophy of Grammar，George Allen \＆Unwin，London．
Kobayakawa，Satoru（1995）＂Enumeration of Things and Events，＂Tsukuba English Studies 14，181－194．

Koch，Peter（2001）＂Lexical Typology from a Cognitive and Linguistic Point of View，＂Language Typology and Language Universals：An International Handbook 2，ed．by Martin Haspelmath et al．， 1142－1178，Walter de Gruyter，Berlin．
McCawley，James D．（1973）＂Syntactic and Logical Arguments for Semantic Structures，＂Three Dimensions of Linguistic Theory，ed．by Osamu Fujimura，260－376，TEC Company，Tokyo．
Postal，Paul M．（1976）＂Linguistic Anarchy Notes，＂ Notes from the Linguistic Underground，Syntax and Semantics 7，ed．by James D．McCawley， 201－225，Academic Press，New York．
Quirk，Randolph et al．（1985）A Comprehensive Grammar of the English Language，Longman， New York．

Stampe，David（1976）＂Cardinal Number Systems，＂ $C L S$ 12，594－609．
Taylor，John R．（2012）The Mental Corpus：How Language is Represented in the Mind，Oxford University Press，Oxford．
Turner，J．Clifford（2000）Voice and Speech in the Theatre，5th ed．，A \＆C Black，London．
Wierzbicka，Anna（1988）The Semantics of Grammar，John Benjamins，Amsterdam．

Yallop，Colin（2004）＂Words and Meaning，＂ Lexicology and Corpus Linguistics：An Introduction，ed．by M．A．K．Halliday et al．， 23－71，Continuum，London．

